

環境政策課からリサイクルを中心としてエコな情報をお届けしてまいります。
今回は、紙おむつリサイクルについてです。

大崎町の「分別」が、全国の笑顔に。 ～世界初・紙おむつ水平リサイクル「RefF(リーフ)」の最前線～

【皆様の分別のおかげで新しいおむつに生まれ変わっています】

いつもごみ分別にご協力いただきありがとうございます。皆様が専用袋に入れ、回収ボックスに出してくださる「使用済み紙おむつ」が、今、大きな形となって全国へ広がっています。

独自のオゾン処理技術で殺菌・漂白された高品質なパルプは、世界初の「紙おむつから紙おむつへの水平リサイクル」を実現しました。

この再生パルプを使用した「マミーポコパンツ RefF(リーフ)」は、2024年4月からイオングループなどの一般店舗で、2026年8月から志布志市の西松屋や、ユニ・チャームダイレクトショップにて販売されています。また、地産地消の取り組みとして、リサイクルパルプ配合のトイレトーパー「志布志・大崎ロール」も誕生し、公共施設などで活用されています。



紙おむつ水平リサイクル
「RefF」商品一覧

【なぜ「おむつだけ」の分別が必要なのか？】

現在、大きな課題となっているのが「異物の混入」です。紙おむつリサイクルは、パルプ・プラスチック・高分子吸収材(SAP)という「**おむつの原材料**」を**丁寧に取り出す高度な技術**です。

そのため、おむつ以外のものが入ってしまうと、再生パルプの品質が低下したり、設備が故障したりしてしまいます。

なぜ「おむつだけ」の分別が必要なの？

紙おむつリサイクルでは、パルプ・プラスチック・高分子吸収材(SAP)を一つひとつ取り出し、再資源化しています。しかし、おむつ以外のものが混ざると、再生パルプの品質が低下したり、設備が故障したりして、リサイクルできなくなってしまいます。

特に多い異物はこちら！



新聞紙・紙類

→ パルプの種類が異なるため、おむつの原料にできません。



金属・ライター・電池など

→ リサイクル設備の故障や火災事故の原因になります。



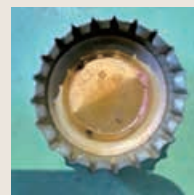
ペット用おむつ・生理用品

→ 構造が異なるため、現在の設備ではリサイクルできません。

「おむつだけ」を出すことが、世界最先端のリサイクルを支えています。



モバイルバッテリー



ビール瓶の蓋

【実際に入っていた異物】